

2002 自治体震度計を用いた地震速報の高度化
担当者 香川敬生 (kagawa@cv.tottori-u.ac.jp)

・実施機関（代表機関）名

鳥取大学

・研究目的

自治体震度計の波形データは、近年の更新によりリアルタイムにデータを取得できるようになっている。現状では事後の震度情報が地震動分布の把握に活用されているのみだが、リアルタイム観測かつ高密度な観測網の利点を活かし、より速く精度良く地震発生を検知し、観測記録を用いて現地地震動を推定する精度を向上する手法を開発する。

気象業務法の問題があり緊急地震速報の実務にすぐに組み入れることはできないが、今後より高密度なネットワークを用いた緊急地震速報を実用化し、速報の間に合わない領域の狭小化、速報の高精度化を図るためのパイロット研究として、地震動の即時予測を通じて減災に貢献できる。